

Ⅵ. 成績・GPA

1. 成績評価

成績評価は、シラバスに記載されている成績評価方法に従って行われます。合格した科目は、取り消したり、再度履修登録したりすることはできません。

2. 成績

	評価		成績表への記載	成績証明書への記載
	記号	素点		
合格	S	100～90	記号表記と 素点表記	記号表記
	A	89～80		
	B	79～70		
	C	69～60		
	N	N	記号表記	
不合格	F	59～0	記号表記と素点表記	表記なし

※ 記号「N」は「認定」を表します。単位互換等で認定された科目は、「N」と記載されます。

3. 成績発表

各学期の成績は、春学期は9月上旬頃、秋学期は3月中旬頃に、「先端なび」で発表します。

4. GPA

本学では、GPA（Grade Point Average）を導入しています。GPAとは大学の成績評価を数値化したもので、学力を測る指標となっています。GPAは、「先端なび」で確認できます。

※GPA値は、学内における奨学金審査等で用いられています。成績基準としてGPA値が各種奨学金やその他の申請等の条件となる場合には、別途募集要項等に記載します。

（1）本学のGPA換算方法

（計算式）

$$\text{GPA} = \frac{(4 \text{ ポイント} \times \text{Sの科目の単位数合計}) + (3 \text{ ポイント} \times \text{Aの科目の単位数合計}) + (2 \text{ ポイント} \times \text{Bの科目の単位数合計}) + (1 \text{ ポイント} \times \text{Cの科目の単位数合計}) + (0 \text{ ポイント} \times \text{Fの科目の単位数合計})}{\text{総単位数（履修登録科目の単位数）}}$$

GPA換算時の対象科目は、履修登録をしたすべての科目となります。不合格となった科目も対象となり、分母に加算されます。また、再履修した科目はすべての成績が対象となり、分母には延べ単位数が加算されます。

※卒業要件に算入しない資格科目は除きます。

※大学コンソーシアム京都単位互換科目、留学によって修得した認定科目、外部試験公式スコアにより単位認定された科目など（評価が「N」と表される科目）は除きます。

5. 成績表記調査

シラバスに記載された評価基準、および授業の中での評価基準の説明を十分に理解した上で、明らかに自分の成績が誤りであると考えられ、それを具体的に説明できる場合、成績表記調査を申し出ることができます。

申請方法：申請方法および申請期間については、「先端なび」よりお知らせします。

受付：成績表記調査の申請内容を確認して、明らかに成績表記に誤りがあると思われる場合は、受け付けます。

回答：「先端なび」より回答します。

注意：成績表記が誤りであるケースは極めて少なく、学生本人が評価方法や授業中の説明を理解していないために、成績表記が誤りであると思い込んでいるケースが大半です。事前に十分に検討してください。

Ⅶ. 単位授与及び認定

1. 単位授与

授業科目を履修し、原則として春学期末または秋学期末に行われる試験に合格した者には、所定の単位が与えられます。

試験の方法は、筆記試験・レポート試験・実技試験などがありますが、科目によっては通常の授業時の成績を試験成績とすることがあります。

出席日数が不足している、あるいは途中で受講を放棄した場合は、その科目の単位は授与されません。

2. 単位授与の時期

単位授与は、原則として9月・3月（各学期終了後）に行います。

単位授与されるには、単位授与時期に、学籍状態が「在学」または「留学」中である必要があります。（「休学」中の場合は、単位授与されません）。

3. 他大学等で修得した単位の認定

教育上有益と認めた場合は、海外留学や国内留学、単位互換制度等を履修することができます。修得した単位は、60単位を限度とし学部教授会の審議を経て卒業認定単位として認めることがあります。なお、上限60単位とは、個々の留学プログラムや単位互換制度ごとではなく、他大学等で修得した総単位数の上限となります。また、各学期の履修登録制限単位数を超えて認定することは出来ませんので、注意してください。

Ⅷ. 進級要件（令和7年度入学生）

1. 進級要件

進級するためには、各学年において学科で定めた要件を満たすことが必要です。

【経済学科、経営学科、心理学科、歴史文化学科、健康スポーツ学科】

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
修得単位数※	—	64 単位以上	—
単位修得が必要な 「現代リベラルアーツ科目」 必修科目	—	18 単位以上	—
単位修得が必要な 専門科目	—	経済学科：マクロ経済入門 ミクロ経済入門、 経営学科：経営戦略入門、 会計学入門 心理学科： 「臨床心理学基礎演習」「社会・産業基礎演習」「心理学研究法」より 4 単位以上	—
在学期間 （休学期間は除く）	1 年次に 1 年間に在学していること。	2 年次進級後に 1 年間に在学していること。	3 年次進級後に 1 年間に在学していること。

※卒業要件に算入されない科目の修得単位数は含まれません。

【生物環境科学科、応用生命科学科】

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
修得単位数※	—	—	96 単位以上
単位修得が必要な 「現代リベラルアーツ科目」 必修科目	—	—	25 単位以上
単位修得が必要な 専門科目	—	—	—
在学期間 （休学期間は除く）	1 年次に 1 年間に在学していること。	2 年次進級後に 1 年間に在学していること。	3 年次進級後に 1 年間に在学していること。

※卒業要件に算入されない科目の修得単位数は含まれません。

【看護学科】

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
単位修得が必要な 「現代リベラルアーツ科目」	—	—	22 単位以上（卒業要件）
単位修得が必要な 専門科目	—	2 年次終了時までに関講した必修科目すべて	3 年次終了時までに関講した必修科目すべて
在学期間 （休学期間は除く）	1 年次に 1 年間に在学していること。	2 年次進級後に 1 年間に在学していること。	3 年次進級後に 1 年間に在学していること。

【言語聴覚学科】

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
単位修得が必要な 「現代リベラルアーツ科目」	—	—	29 単位以上（卒業要件）
単位修得が必要な 専門科目	—	2 年次終了時までに関講 した必修科目すべて	3 年次終了時までに関講 した必修科目すべて
在学期間 （休学期間は除く）	1 年次に1 年間に在学してい ること。	2 年次進級後に1 年間に在学 していること。	3 年次進級後に1 年間に在学 していること。

【機械電気システム工学科】

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
修得単位数※	—	—	88 単位以上
単位修得が必要な 「現代リベラルアーツ科目」 必修科目	微分積分と線形代数Ⅰ	英語科目より必修 10 単位 を含む 18 単位以上	—
単位修得が必要な 専門科目	物理工学Ⅰ	—	キーストーンプロジェクト
在学期間 （休学期間は除く）	1 年次に1 年間に在学してい ること。	2 年次進級後に1 年間に在学 していること。	3 年次進級後に1 年間に在学 していること。

※卒業要件に算入されない科目の修得単位数は含まれません。

Ⅸ. 学修者本位の学び

1. 学修者本位の学び

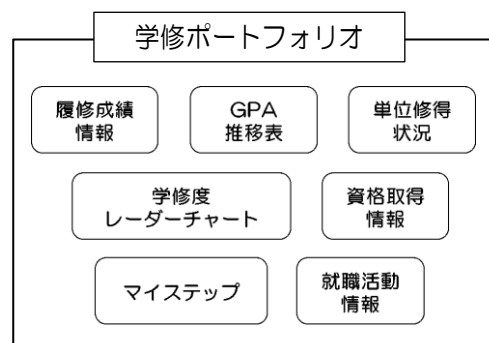
本学の教育課程（カリキュラム）によって身につく力は、現代のリベラルアーツとしての「グローバル社会を生き抜く力」です。大学・学部・学科は、それぞれ「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー：DP)」として、学生の卒業要件を定めています(履修要項 p.2、および各学部・学科ページ参照)。

また、文部科学省の指針により、高等教育のあり方は、大学が学生に対して「何を教えるか」ではなく、学生自身が目指す姿になるために「何を学び、身に付けるのか」に変わってきました。この、学生が自らの学修の成果を実感しながら必要な能力を身に付けていくことを「学修者本位の学び」と呼びます。

「学修者本位の学び」を効率よく進めるツールとして、先端なびには「学修ポートフォリオ」と「マイステップ」が用意されています。

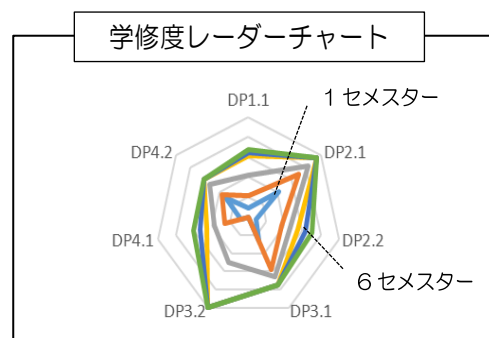
2. 学修ポートフォリオ

学修ポートフォリオは、学生一人ひとりの学修情報(履修成績情報、資格、GPA 推移、単位修得状況)から就職活動情報までを一元的に確認できるツールです。そのなかには「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー：DP)」への到達度を可視化した「学修度レーダーチャート」があります。また、これは学修の自己管理ツール「マイステップ」とも連携しています。学修ポートフォリオを上手に活用することにより、自分自身の成長(学修進捗度)をGPAだけではなく、より広い視点から確認してください。



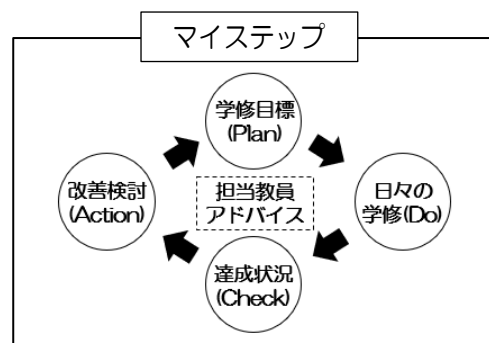
3. 学修度レーダーチャート

各授業科目は「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー：DP)」の7項目に割り付けられています。学修度レーダーチャートとは、学生のDPに対する伸長状況を、セメスターごとに修得した科目の成績も考慮して算出し、可視化したものです。上級生になるにつれ、また成績上位になるにつれ、相対的にレーダーチャートの面積は大きくなります。各DPに対して伸びている点、欠けている点がわかりますので、自分の学修到達度を把握するとともに、翌セメスターの履修登録時の検討材料にしてください。



4. マイステップ(学修の自己管理ツール)

「学修者本位の学び」を進めるには、学生自身が「学修目標を立てる(Plan)」「日々の学修を行う(Do)」「達成状況をチェックする(Check)」「改善検討を行う(Action)」と、翌セメスターにはまた「新しい学修目標を立てる(Plan)」というPDCAサイクルを回す必要があります。マイステップは、セメスターごとに「アセスメントテスト」等の結果を参考に学修目標・達成状況・改善ポイント等を入力することで、学修の自己管理ができるツールになっています。学修目標設定時と成績発表時には、担当教員から面談等を通して入力内容に対するアドバイスがフィードバックされますので、それらも参考にしながら、自身が目指す姿になるための取り組みを、主体的に進めてください。



X. 卒業と学位（令和7年度入学生）

1. 卒業および学位

卒業するためには、大学が定める教育課程に従って学修し、次の卒業要件をすべて満たすことが必要です。

（1）所定在学年数

8セメスター以上在学し、各学年1年以上在学していること。休学期間は在学年数に含みません。

（2）所定単位の修得

卒業に必要な単位数（要卒単位数）・必修条件等を満たしていること。

（3）卒業判定

所定在学年数の要件を満たすことになる在学学生を対象に卒業判定を行います。この卒業判定に合格した場合に、卒業が認められます。

2. 学位

学部名	学科名	学位
経済経営学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
人文学部	心理学科	学士（人文）
	歴史文化学科	学士（人文）
バイオ環境学部	生物環境科学科	学士（バイオ環境）
	応用生命科学科	学士（バイオ環境）
健康医療学部	看護学科	学士（看護学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	健康スポーツ学科	学士（健康スポーツ学）
工学部	機械電気システム工学科	学士（工学）

3. 卒業見込

（1）卒業見込証明書とは

「卒業見込証明書」とは卒業見込日が記載された証明書であり、就職試験や大学院入試等で受験先から提出を求められます。卒業見込は、卒業を保証するものではありません。

（2）証明書発行基準

卒業見込証明書の発行基準は次頁のとおりです。

【卒業見込証明書発行基準】

以下の表に記載されている要件に基づき、卒業見込証明書が発行されます。

所属学部	所属学科	卒業に必要な 単位数	第7セメスター	第8セメスター ※第8セメスター開始時に以 下の修得単位数（要卒単位 数）を満たしていること。
経済経営学部	経済学科	124 単位	3年次終了時に、卒業 見込の有無についてお 知らせします。	100 単位以上
	経営学科			
人文学部	心理学科	124 単位		100 単位以上
	歴史文化学科			
バイオ環境学部	生物環境科学科	128 単位	4年次に在籍している こと	108 単位以上
	応用生命科学科			
健康医療学部	看護学科	126 単位		121 単位以上
	言語聴覚学科			120 単位以上
	健康スポーツ学科	124 単位	3年次終了時に、卒業 見込の有無についてお 知らせします。	100 単位以上
工学部	機械電気システム工学科	128 単位	4年次に在籍している こと	104 単位以上

※第7セメスターで卒業見込証明書を発行されていた場合でも、成績次第で第8セメスターでは発行されない場合があります。

卒業認定の基準（令和7年度入学生）

〔経済経営学部 経済学科〕

科目区分			必修	卒業要件	
現代リベラル アーツ科目	未来展望科目		－	2 単位以上	その他 現代リベ ラルアーツ科目 より 15 単位 以上
	学際コア 科目	人間と発達	－	2 単位以上	
		人間と社会			
		人間と自然			
		人間の複眼的理解			
	初年次科目		4	必修 4 単位	
	アカデミック・リテラシー科目		3	必修 3 単位を含む 5 単位以上	
	語学・ 異文化 理解科 目	英語科目	13	必修 13 単位を含む 14 単位以上 ※上級英語Ⅰ・Ⅱを除く	
		第二外国語科目	－		
		海外研修科目	－		
	スポーツ・ライフスキル科目		4	必修 4 単位	
	キャリア教育科目		4	必修 4 単位を含む 4 単位以上	
フィールド・スタディ科目		－			
小計				50 単位以上	
学 科 専 門 科目	入門科目	8	入門科目の必修 8 単位を含む		そ の 他 学 科 専 門 科 目 よ り 56 単 位 以 上
	キャリア科目	－	16 単位以上		
	法学科目	－	－		
	展開科目	－	－		
	演習科目	2	必修 2 単位		
	※他学部・他学科、大学コンソーシアム京都、放送大学などで修得した単位は 12 単位を 上限に含むことができる。				
小計				74 単位以上	
合計				124 単位以上	

- ・原則として、第8セメスターに卒業研究の成果物（卒業論文等）を提出し、合格することを卒業要件とする。
- ・合計 124 単位（必修 38 単位、必修以外 86 単位）以上を修得すること。内訳は上記表のとおり。
現代リベラルアーツ科目から修得した単位数が 50 単位を超過した場合、その超過単位数は進級に必要な単位数なら
びに卒業に必要な単位数には含まない。
また、他学部・他学科、大学コンソーシアム京都、放送大学などで修得した単位が 12 単位を超過した場合もその超
過単位数は進級に必要な単位数ならびに卒業に必要な単位数には含まない。
- ・すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は 24 単位（年間 48 単位）。

科目区分			必修	卒業要件	
現代リベラル アーツ科目	未来展望科目		－	2 単位以上	その他 現代リベ ラルアーツ科目 より 15 単位 以上
	学際コア 科目	人間と発達	－	2 単位以上	
		人間と社会			
		人間と自然			
		人間の複眼的理解			
	初年次科目		4	必修 4 単位	
	アカデミック・リテラシー科目		3	必修 3 単位を含む 5 単位以上	
	語学・ 異文化 理解科 目	英語科目	13	必修 13 単位を含む 14 単位以上 ※上級英語Ⅰ・Ⅱを除く	
		第二外国語科目	－		
		海外研修科目	－		
	スポーツ・ライフスキル科目		4	必修 4 単位	
	キャリア教育科目		4	必修 4 単位を含む 4 単位以上	
フィールド・スタディ科目		－			
小計				50 単位以上	
学科専門 科目	入門科目	8	入門科目の必修 8 単位を含む 16 単位以上		その他 学科専門 科目 より 56 単位以上
	キャリア科目	－			
	法学科目	－	－		
	展開科目	－	－		
	演習科目	2	必修 2 単位		
	※他学部・他学科、大学コンソーシアム京都、放送大学などで修得した単位は 12 単位を 上限に含むことができる。				
小計				74 単位以上	
合計				124 単位以上	

- ・原則として、第8セメスターに卒業研究の成果物（卒業論文等）を提出し、合格することを卒業要件とする。
- ・合計 124 単位（必修 38 単位、必修以外 86 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。
現代リベラルアーツ科目から修得した単位数が 50 単位を超過した場合、その超過単位数は進級に必要な単位数なら
びに卒業に必要な単位数には含まない。
- また、他学部・他学科、大学コンソーシアム京都、放送大学などで修得した単位が 12 単位を超過した場合もその超
過単位数は進級に必要な単位数ならびに卒業に必要な単位数には含まない。
- ・すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は 24 単位（年間 48 単位）。

科目区分			必修	卒業要件	
現代リベラル アーツ科目	未来展望科目		－	2 単位以上	その 他 現 代リベラル アーツ科目 より 15 単 位以上
	学際コア 科目	人間と発達	－	2 単位以上	
		人間と社会			
		人間と自然			
		人間の複眼的理解			
	初年次科目		4	必修 4 単位	
	アカデミック・リテラシー科目		3	必修 3 単位を含む 5 単位以上	
	語 学 ・ 異 文 化 理 解 科 目	英語科目	13	必修 13 単位を含む 14 単位以上 ※上級英語Ⅰ・Ⅱを除く	
		第二外国語科目	－		
		海外研修科目	－		
	スポーツ・ライフスキル科目		4	必修 4 単位	
	キャリア教育科目		4	必修 4 単位を含む 4 単位以上	
	フィールド・スタディ科目		－		
	他学部・他学科科目、大学コンソーシアム京都、放送大学などで履修した科目				
小計			50 単位以上		
学科専門科 目	基礎科目	－	必修 10 単位のほか、「臨床心 理学基礎演習」「社会・産業基 礎演習」「心理学研究法」より 4 単位以上	その他学 科専門科 目より 60 単位 以上	
	展開科目	10			
小計			74 単位以上		
合計			124 単位以上		

・以下の条件を満たすことを卒業要件とする

①「現代リベラルアーツ科目」のうち必修科目を含む 50 単位の修得

②学科専門科目の展開科目のうち必修 10 単位の修得

③学科専門科目の基礎科目および展開科目のうち、「臨床心理学基礎演習」「社会・産業基礎演習」「心理学研究法」より 4 単位以上を含む 64 単位以上の修得

④①から③までの条件を満たす総計 124 単位以上の修得

・本学科には、以下の必修科目を置く

・臨床心理学プログラム：「臨床心理学専門演習Ⅰ～Ⅳ」、「卒業研究」

・心理学プログラム：「心理学専門演習Ⅰ～Ⅳ」、「卒業研究」

・社会・産業プログラム：「社会・産業専門演習Ⅰ～Ⅳ」、「卒業研究」

・「現代リベラルアーツ科目」から修得した単位数が 50 単位を超過した場合、その超過単位数は進級要件に必要な単位数ならびに卒業要件に必要な単位数には含まない。

・すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は 24 単位（年間 48 単位）。

科目区分			必修	卒業要件	
現代リベラル アーツ科目	未来展望科目		－	2 単位以上	その他現 代リベラル アーツ科目 より 15 単 位以上
	学際コア 科目	人間と発達	－	2 単位以上	
		人間と社会			
		人間と自然			
		人間の複眼的理解			
	初年次科目		4	必修 4 単位	
	アカデミック・リテラシー科目		3	必修 3 単位を含む 5 単位以上	
	語 学 ・ 異 文 化 理 解 科 目	英語科目	13	必修 13 単位を含む 14 単位以 上 ※上級英語Ⅰ・Ⅱを除く	
		第二外国語科目	－		
		海外研修科目	－		
	スポーツ・ライフスキル科目		4	必修 4 単位	
	キャリア教育科目		4	必修 4 単位を含む 4 単位以上	
	フィールド・スタディ科目		－		
	他学部・他学科科目、大学コンソーシアム京都、放送大学などで履修した科目				
	小計			50 単位以上	
学科専門科 目	基礎科目	10	必修 10 単位	その他学 科専門科 目より 62 単位 以上	
	展開科目	2	必修 2 単位		
小計			74 単位以上		
合計			124 単位以上		

・以下の条件を満たすことを卒業要件とする

- ①「現代リベラルアーツ科目」のうち必修科目を含む 50 単位の修得
- ② 学科専門科目のうち、必修 12 単位を含む 74 単位の取得
- ③①から②までの条件を満たす総計 124 単位以上の修得

・本学科には、以下の必修科目を置く

日本史概説 A・B、歴史文化学概論 A・B、デジタル人文学入門、卒業研究

・「現代リベラルアーツ科目」から修得した単位数が 50 単位を超過した場合、その超過単位数は進級要件に必要な単位数ならびに卒業要件に必要な単位数には含まない。

・すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は 24 単位（年間 48 単位）。

【バイオ環境学部 生物環境科学科】

科目群		必修単位数	必要単位数		要修得単位数	合計
現代リベラル アーツ科目	未来展望科目	—	2 単位以上		50 単位	128 単位
	学際コア科目	—	2 単位以上			
	初年次科目	必修 4 単位	4 単位			
	アカデミック・リテラシー科目	必修 3 単位	5 単位以上			
	語学・異文化理解科目	必修 13 単位	14 単位以上（必修 13 単位のほか、英語Ⅲ Aまたは英語Ⅲ Bから 1 単位以上）			
	スポーツ・ライフスキル科目	必修 4 単位	4 単位			
	キャリア教育科目	必修 4 単位	4 単位以上			
	フィールドスタディ科目	—	—			
	他学部・他学科科目、大学コンソーシアム京都などで履修した科目※3					
学科専門科目	基礎科目	必修 4 単位	12 単位以上	その他 10 単位 ※4	78 単位	
	専門基礎科目	必修 5 単位	16 単位以上			
	専門科目	12 単位	40 単位以上			

※1：成績表の「認定単位数」枠内の単位

※2：現代リベラルアーツ科目は50単位、学科専門科目（その他10単位を含む）は78単位を上限に、認定単位に算入することができる。

※3：他学部・他学科科目受講・他大学との単位互換により取得した単位も卒業要件としての修得単位に算入することができる。

※4：「その他」の10単位は、学科専門科目（基礎科目・専門基礎科目・専門科目）のいずれの分野からも算入することができる。

・：現代リベラルアーツ科目から修得した単位数が50単位を超過した場合、その超過単位数は進級要件に必要な単位数ならびに卒業要件に必要な単位数には含まれない。また、学科専門科目の「その他」の10単位を超過した場合もその超過単位数は進級要件に必要な単位数ならびに卒業要件に必要な単位数には含まれない。

・：すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は24単位（年間48単位）。但し、4年次は各セメスター20単位（年間40単位）。

【バイオ環境学部 応用生命科学科】

卒業には以下の全ての要件を満たす必要があります。

1-1. 卒業要件としての修得単位※1を128単位修得すること※2。

科目群		必修単位数	必要単位数		要修得単位数	合計
現代リベラル アーツ科目	未来展望科目	—	2 単位以上		50 単位	128 単位
	学際コア科目	—	2 単位以上			
	初年次科目	必修 4 単位	4 単位			
	アカデミック・リテラシー科目	必修 3 単位	5 単位以上			
	語学・異文化理解科目	必修 13 単位	14 単位以上（必修 13 単位のほか、英語Ⅲ Aまたは英語Ⅲ Bから 1 単位以上）			
	スポーツ・ライフスキル科目	必修 4 単位	4 単位			
	キャリア教育科目	必修 4 単位	4 単位以上			
	フィールドスタディ科目	—	—			
	他学部・他学科科目、大学コンソーシアム京都などで履修した科目※3					
学科専門科目	基礎科目	必修 6 単位	12 単位以上	その他 10 単位 ※4	78 単位	
	専門基礎科目	必修 3 単位	16 単位以上			
	専門科目	必修 27 単位	40 単位以上			

※1：成績表の「認定単位数」枠内の単位

※2：現代リベラルアーツ科目は50単位、学科専門科目（その他10単位を含む）は78単位を上限に、認定単位に算入することができる。

※3：他学部・他学科科目受講・他大学との単位互換により取得した単位も卒業要件としての修得単位に算入することができる。

※4：「その他」の10単位は、学科専門科目（基礎科目・専門基礎科目・専門科目）のいずれの分野からも算入することができる。

・：現代リベラルアーツ科目から修得した単位数が50単位を超過した場合、その超過単位数は進級要件に必要な単位数ならびに卒業要件に必要な単位数には含まれない。また、学科専門科目の「その他」の10単位を超過した場合もその超過単位数は進級要件に必要な単位数ならびに卒業要件に必要な単位数には含まれない。

・：すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は24単位（年間48単位）。但し、4年次は各セメスター20単位（年間40単位）。

〔健康医療学部 看護学科〕

【 科 目 区 分 】		必修	選択
現代リベラルアーツ科目	未来展望科目	—	3
	学際コア科目	6	
	初年次科目	2	
	アカデミック・リテラシー科目	5	
	語学・異文化理解科目	6	
	スポーツ・ライフスキル科目	—	
	フィールド・スタディ科目	—	
専門基礎分野		23	—
専門分野	看護の基礎	34	—
	看護の実践	40	—
	看護の発展	4	3
計		120	6
卒業必要単位数		126	

すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は 24 単位（年間 48 単位）。

〔健康医療学部 言語聴覚学科〕

【 科 目 区 分 】		必修	選択
現代リベラルアーツ科目	未来展望科目	—	8
	学際コア科目	4	
	初年次科目	2	
	アカデミック・リテラシー科目	9	
	語学・異文化理解科目	6	
	スポーツ・ライフスキル科目	—	
	フィールド・スタディ科目	—	
専門基礎分野	人体のしくみ・疾病と治療 心の働き 言語とコミュニケーション 社会保障・教育とリハビリテーション	38	—
専門分野	地域言語聴覚療法学 言語聴覚障害学総論 失語・高次脳機能障害学 言語発達障害学 発声発語・摂食嚥下障害学 聴覚障害学 言語聴覚療法管理学 臨床実習	59	—
計		118	8
卒業必要単位数		126	

すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は 24 単位（年間 48 単位）。

科目区分			必修	卒業要件	
現代リベラル アーツ科目	未来展望科目		—	2単位以上	その他 現代リベラ ルアーツ 科目より 15単位 以上
	学際コア 科目	人間と発達	—	2単位以上	
		人間と社会			
		人間と自然			
		人間の複眼的理解			
	初年次科目		4	必修4単位	
	アカデミック・リテラシー科目		3	必修3単位を含む5単位以上	
	語学・ 異文化理 解科目	英語科目	13	必修13単位を含む14単位以上 ※上級英語Ⅰ・Ⅱを除く	
		第二外国語科目	—	—	
		海外研修科目	—	—	
	スポーツ・ライフスキル科目		4	必修4単位	
	キャリア教育科目		4	必修4単位を含む4単位以上	
	フィールド・スタディ科目		—		
他学部、大学コンソーシアム京都などで履修した科目					
小計			50単位以上		
学科専門科目	基礎科目	4	必修4単位を含む10単位以上		その他 学科専門 科目より 55単位 以上
	応用科目	—	—		
	実習科目	—	—		
	実技科目	1	必修1単位		
	演習科目	8	必修8単位		
小計			74単位以上		
合計			124単位以上		

- ・現代リベラルアーツ科目から修得した単位数が50単位を超過した場合、その超過単位数は進級要件に必要な単位数ならびに卒業要件に必要な単位数には含まない。
- ・すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は24単位（年間48単位）。

[工学部機械電気システム工学科]

【科 目 区 分】				必修	卒業要件						
現代リベラル アーツ科目	未来展望科目			—	2 単位以上		—				
	学際コア科目	人間と発達		—	2 単位以上						
		人間と社会									
		人間と自然									
		人間の複眼的理解									
	初年次科目			4	4 単位		その他3 単位以上				
	語学・異文化理 解科目	英語科目		10	必修 10 単位を含む 18 単位以上						
		日本語科目（留学生）		—	(18 単位以上* 9 月入学生科目)						
		第二外国語科目		—							
		海外研修科目		—							
	スポーツ・ライフスキル科目			—	3 単位以上						
	キャリア 教育科目	キャリアデザイン		—							
		企業実習									
インターンシップ実習											
フィールド・スタディ科目			—								
ロジカル思考 基礎科目	微分積分と線形代数Ⅰ・Ⅱ		12	必修 14 単位、および「情報リテラシーA」「情報リテラシーB」のうち1 科目以上を含む 18 単位以上		—					
	数理統計学		—								
	ビジネス・データサイエンス入門		—								
	数値解析プログラミング		2								
	情報リテラシーA・B		—								
他学部・他学科、大学コンソーシアム京都などで修得した単位											
小計				50 単位以上							
学科専門科目	専門共通 科目	専門共通基礎科目		—	必修 12 単位を含む 19 単位以上		その他学部専門科目全体より2 単位以上				
		物理工学科目	基礎	12							
		工業数学科目	基礎	—				専門科目（基礎） 16 単位より 12 単位以上			
			応用	—							
		情報処理科目	基礎	—						専門科目（応用・発展） 49 単位より 24 単位以上	
			応用	—							
	専門科目	設計生産（基礎/応用）		—	専門科目（基礎） 16 単位より 12 単位以上						
		ロボティクス（応用/発展）		—							
		計測（応用/発展）		—							
		制御（応用/発展）		—							
		力学（基礎）		—							
		材料（基礎）		—							
		イオニクス（基礎/応用/発展）		—				専門科目（応用・発展） 49 単位より 24 単位以上			
		電磁気（応用）		—							
		アクチュエータ（応用/発展）		—							
		エネルギー（応用）		—							
		デバイス（応用）		—							
		回路（応用）		—							
	通信（応用）		—								
	実験・実習			6	必修 6 単位を含む 9 単位以上						
総合演習★			6	必修 6 単位を含む 12 単位以上							
小計				78 単位以上							
総計				128 単位以上							

★総合演習の「キャップストーンプロジェクト」または「研究室プロジェクトⅠ・Ⅱ」はいずれかの科目のみ履修可能。

- 卒業に必要な科目区分として、必ず修得しなければならない「必修科目」、指定された授業科目の中から自分で選択して修得する「選択科目」に分けられる。
- すべてのセメスターにおいて、履修登録できる単位数は24単位（年間48単位）。